

麻酔について

麻酔科 成田 祥子

・麻酔とは？

麻酔というと手術で患者さんを眠らせるイメージが強いと思いますがそれだけではありません。一般的に手術を行う際に体は大きな痛みとストレスを受けます。この痛みとストレスは術後の回復にも大きく影響します。痛みとストレスから患者さんの身を守り、手術を安全に行い患者さんの全身状態を正常に維持することが麻酔の最大の目的です。

・麻酔って安全なの？

薬剤や医療機器の進歩により、適切に麻酔を行えばほとんどのケースで安全に手術が終えられるようになりました。2018年の調査で麻酔が単独の原因で手術中に死亡したのは、25万例に1例でした。麻酔そのものは比較的安全な医療行為であるとされています。

・「麻酔科医」とは？

麻酔科医は手術中に何が起きても対応できるよう常に患者さんのそばで全身状態を監視し、様々な薬や機器と共に備え、安全な手術医療を陰から支えています。その為に手術の数日前から患者さんを診察し年齢や体の状態などから一人ひとりに適した麻酔方法や薬の投与量などを考えます。そして手術後も痛みが無いかどうか、麻酔の影響が残っていないかなど診察に伺います。手術中の麻酔だけではなく、手術の前後にわたって患者さんが安全かつ快適に手術が受けられようにするのが麻酔科医です。

・どんな麻酔があるの？

麻酔には大きくわけて「全身麻酔」と「区域麻酔」があります。全身麻酔は麻酔薬によって完全に意識を無くし、呼吸も止めて人工呼吸器で管理します。区域麻酔は意識はありますが手術をする部位だけ痛みを感じなくさせる麻酔法です。区域麻酔でも、ご希望があれば鎮静薬や麻酔薬によって眠ることが可能です。

原則として当院ではお腹の中の手術（胃がんや大腸がんなど）や腕・鎖骨の手術は全身麻酔、鼠径ヘルニアや脚の骨折などお臍より下の部位の手術では区域麻酔で行います（患者さんの持病や普段飲んでいるお薬で麻酔方法が変わることがあります）。また、全身麻酔と区域麻酔を組み合わせる麻酔法や、小さい部位の手術では局所麻酔のみで行うこともあります。患者さんごとに麻酔担当医が最も安全と考えられる麻酔法を選択します。

当院はご高齢の患者さんが比較的多いですが、一般的に手術や麻酔は年齢を重ねるごとに色々なリスクがついてきます。そのような場合でも出来る限り安全に手術を受けることができるよう努めてまいります。

オンライン面会を行っています。

予約制となっておりますのでご希望の方は

公立世羅中央病院 ☎0847-22-1127へお問合せください。

